## 線形代数 中間試験 解答

- 1 正しくないものを選んだ場合はひとつにつき 2点減点.
  - (1)  $\vec{a}$  との内積が 0 のベクトルは (ウ)
  - (2)  ${}^{t}A = -A$  を満たすのは(エ)
  - (3) 行列式の値が 0 でないのは (ウ)
  - (4) (ア)

3 (2)のみ、解が正しくなくても基本変形が数回正しくできていれば1点。

$$\boxed{\mathbf{4}} \quad (1) \det \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ -2 & 2 \end{pmatrix} = 1 \times 2 - 1 \times (-2) = \underline{\mathbf{4}}, \qquad (2) \det \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ -2 & 2 & 0 \\ 5 & 2 & 1 \end{pmatrix} = 1 \times 2 \times 1 = \underline{\mathbf{2}}^{*1}.$$

(3) 
$$\det \begin{pmatrix} 2 & 0 & 0 & 0 \\ \hline 1 & 1 & -1 & 2 \\ -2 & 2 & 1 & 0 \\ 2 & 2 & 2 & 1 \end{pmatrix} = 2 \times \det \begin{pmatrix} 1 & -1 & 2 \\ 2 & 1 & 0 \\ 2 & 2 & 1 \end{pmatrix} = 2(1 + 8 - 4 - (-2)) = \underline{14}^{*2}.$$

(4) 置換  $\varphi$  の置換行列を  $A_{\varphi}$  と表すと, $A_{\varphi}e_i=e_{\varphi(i)}$  である.すると, $A_{\varphi}A_{\psi}e_i=A_{\varphi}e_{\psi(i)}=e_{\varphi(\psi(i))}=e_{\varphi\psi(i)}$  より  $A_{\varphi}A_{\psi}=A_{\varphi\psi}$  が成り立つ.このことから, $A_{\varphi}$  の逆行列は  $A_{\varphi^{-1}}$  である(なぜなら, $A_{\varphi}A_{\varphi^{-1}}=A_{\varphi\varphi^{-1}}=A_{1_N}=E$  だから).したがって, $A_{\varphi}^{-1}$  の求め方は  $\varphi$  の逆置換を求め,その置換行列を求めればよい\*3(根拠の説明が足りなかったり,文章がおかしい場合は 1 点のみ.).

<sup>\*1</sup> 三角行列の行列式は対角成分の積に等しい.

<sup>\*2</sup> 補助定理 4.1(教科書 p.70)を利用する.

<sup>\*3</sup> 実際には  $A_{\varphi}^{-1}={}^tA_{\varphi}$  である.また, $\det(A_{\varphi})=\mathrm{sgn}(\varphi)$  が成り立つ(行列式の性質から).